

～大学生広報探検隊が行く！～障害者スポーツを楽しもう!!

(ボッチャ体験篇・ゴールボール体験篇)

栃山女子学園大学の学生が 障害者スポーツを体験しました

昨年の東京 2020 パラリンピックの開催を機に

障害者スポーツへの関心が高まっています。

2026 年には、ここ愛知・名古屋でのアジアパラ競技大会の開催が決定しており、ますます注目を集めることと思います。



公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会では、障害者スポーツの魅力を発信するため、このたび栃山女子学園大学の学生に「障害者スポーツ」のボッチャ・ゴールボールを体験していただきました。

少しでも競技の魅力を多くの方にお伝えできたらと考え、大学生にご協力いただき、体験リポートとして動画を制作しましたので、ぜひご覧ください。



(公財) 名古屋市教育スポーツ協会
NESPA YouTube チャンネル⇒⇒⇒
協会ホームページからも NESPA YouTube
チャンネルが視聴できます！



【ボッチャ】 ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ 6 球ずつのボールをいかに近づけるか競うスポーツです。カーリングのように相手のボールを弾いたりして、自分が優位に立てるよう位置取りをしていきます。1984 年からパラリンピックの正式競技として行われています。男女の区別はなく、障がいの程度でクラス分けをして順位を競います。

【ゴールボール】 ゴールボールは、目隠しをしながら鈴の入ったボールを転がし、ゴールに入れることで得点とする視覚障害者の競技です。1 チーム 3 名による対戦形式で、バレーボールと同じ広さのコートの中で、選手はボールに入っている鈴の音などを頼りに動きます。1980 年からパラリンピックの正式種目となっています。視覚以外の感覚を研ぎ澄ませることと、チームメンバーとのコミュニケーションが重要です。

